

陳 情 文 書 表

受理番号	29第14号	受理年月日	平成29年8月29日
陳 情 者	[REDACTED]		
件 名	鷹番小学校の改築・改修に関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>来春1年生になる息子がいるため、平成29年6月18日に、通学区である鷹番小学校の学校公開へ、期待に胸を膨らませながら足を運びました。</p> <p>しかしながら、薄暗い校内、古くカビ臭いにおい、ポコポコの床、もう使っていないのか立ち入り禁止の教室など、とても毎日息子を通わせたいような校舎ではなく、愕然とした気持ちになりました。古くても改築を重ねて丁寧に使っていれば問題ないと思うのですが、あまりに古いものを放置してきたような印象です。</p> <p>校舎に関して調べてみると、小学校のホームページに掲載されている沿革によれば、鷹番小学校は昭和41年～49年頃に建築されたようです。しかし、近年目黒区内で新校舎が建設された碑小学校は昭和36年～50年に建築・改修工事がなされ、同じく東山小学校は昭和57年に改修工事がなされており、目黒区の小学校が全体的に老朽化している中で、なぜこの2校の全面改築が優先され、鷹番小学校をはじめとする他の学校の改築・改修工事が後回しになっているのでしょうか。</p> <p>古いものを大事に使おうというのは良いことだと思いますが、未来ある子どもたちが、明るく勉強ができるよう、鷹番小学校の改築をご検討いただきたくお願い申し上げます。</p> <p>【陳情事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鷹番小学校を全面改築してください。 2 1が叶わないのであれば、鷹番小学校を全面改修してください。 具体的には、フローリングの張替え、明かりを取り込みやすい窓に変えるなど。 3 早期に鷹番小学校の照明LED化を進めてください。 			